

平成29年2月21日（火）

津島市健康福祉部高齢介護課（水野、伊藤）

電話番号0567-24-1111(内線2140・2144)

**医療、介護、予防、生活支援等について
高齢者だけでなく広い視点で、地域包括ケアシステムを構築するために、
次年度の平成30年度に向けて、専任担当を置いて事業を進めます**
＜事業名＞地域包括ケア推進事業（新規）

予算額 277千円

1 事業概要

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築が全国で推進されています。介護保険制度においては、地域包括ケアシステム構築のために、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策、生活支援サービスの充実等を図ることを規定しており、それぞれの事業について高齢介護課が中心となり進めてきました。

津島市では、地域包括ケアシステムの構築を推進するための「医療、介護、予防、生活支援など」において、高齢者だけでなく、より広い視点から津島市全体の地域包括ケアシステムを構築するため、各課が所管する施策を連携させる地域包括ケアシステムの専任担当を平成29年4月1日から健康福祉部福祉課内に置きます。

主な業務内容については、津島市全体の地域包括ケアシステム構築に向けた企画・立案や、在宅医療の分野で津島市医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護関係者の多職種連携や津島市民病院と一緒に、地域包括ケアを構築してきましたが、今後は介護・予防なども含めて、これまでの成果を引き継ぎながら、目指す姿の実現に向け、関係機関・関係団体との調整を図ります。

また、庁内各部署との連携による施策の推進（プロジェクトチーム等）、各種行政計画との調整や地域包括ケアシステム推進協議会など会議の運営を行います。

2 予算内訳

(1) 講師謝礼	100千円
(2) 普通旅費	39千円
(3) その他経費	138千円

3 参考事項

現在の津島市における地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み

(1) 在宅医療・介護連携の推進

- ・電子連絡帳システムを活用した在宅医療と介護等の多職種間での患者情報の共有および連携の円滑化に向けた取り組み
- ・住みよい地域社会の実現に貢献する目的から保健・医療・福祉サービスを中心とした地域連携ネットワークづくりを推進する津島市医歯薬介連携推進協議会（通称あんしんネットつしま）を設置し、地域の医・歯・薬・介護の関係者の顔の見える関係づくりを促進するために、事例検討会や地域連携フォーラムを定期的に開催
- ・津島市医師会に在宅医療サポートセンターおよび海部医療圏中核センターが平成27年から3か年設置され、在宅医療の推進のための活動を担うセンターと行政が連携し、在宅療養の環境整備に取り組んでいる

(2) 認知症施策の推進

- ・認知症の疑いのある人、もしくは認知症の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、利用できる医療や介護サービスの情報を体系的に整理した資料の認知症ケアパスの普及と利用促進
- ・認知症サポート医および複数の専門職により組織された認知症初期集中支援チームにより、認知症の人やその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的、集中的に行い、自立支援のサポートを行う

(3) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

- ・平成27年4月から生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置し、地域が抱える課題やニーズを把握するとともに、生活支援サービスの内容の検討及びサービスの担い手を養成する等を行う